

『中学社会公民的分野』

学習指導計画作成資料

■公民的分野 目標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

	(1)	(2)	(3)
目標	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

(中学校学習指導要領P.57)

■公民的分野 評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めているとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	現代の社会的事象について、国家及び社会の担い手として、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

(平成31年3月29日付け30文科初第1845号「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について(通知)」の「[別紙4]各教科等・各学年等の評価の観点等及びその趣旨」P.4 引用)

※公民的分野の学習指導要領の目標を踏まえ、観点別学習状況の評価の対象とするものについて整理した表です。

■年間指導計画案

累計 時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
1	これからの社会をどんな社会にしたい？ —国際社会共通の目標 SDGs— (教科書 P. 2-3)	○SDGs の 17 の目標と現代社会に関する写真から、持続可能な社会との関係を考えることで、公民の学習に取り組む意欲をもつ。	思考・判断・表現 写真と持続可能な社会との関係について理由づけて考えている。 主体的に学習に取り組む態度 持続可能な社会の考え方が自らの生活と深い関わりをもつことに気付き、以後の公民の学習に関心と意欲をもっている。

第 1 編 私たちと現代社会

学習指導要領の内容：A（1）

第 1 編の目標	
<p>○現代の社会生活などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>○現代の社会生活などについて、社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○私たちと現代社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>	
第 1 編の 評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることを理解している。 ・現代社会における文化の意義や影響について理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちと現代社会について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

累計 時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
-	【導入】 学習の始めに 現代社会はどんな社会だろうか？ (教科書 P. 6-7)	○自分たちが生活する現代社会に関心をもつ。 ○地理的分野と歴史的分野の学習内容と関連させて、現代社会の特色について自分の言葉で理由も含めて発表する。	知識・技能 漫画を読んで、現代社会の特色を適切に読み取っている。 主体的に学習に取り組む態度 少子高齢化、情報化、グローバル化等の現代社会の特色に関心が高まっている。

第1節の目標	
<p>○現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解するとともに、諸資料から現代日本の特色に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>○少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○私たちが生きる現代社会の特色について、現代日本に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【単元を貫く問い】 現代日本の社会には、どのような特色と課題があるだろうか。</p>	
第1節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解するとともに、諸資料から現代日本の特色に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちが生きる現代社会の特色について、現代日本に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
2	<p>1 少子高齢化の社会で生きる私たち (教科書P.8-9)</p> <ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化とは 少子高齢化と私たちの社会 少子高齢化への挑戦 	<p>○平均寿命や出生率等の統計資料をもとに、日本の人口構造の変化と少子高齢化の進展について理解する。</p> <p>○少子高齢社会がもたらす課題とその対策について具体例をあげながら考える。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>統計や各種資料をもとに少子高齢化が進行していることを読み取っている。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>少子化と高齢化が合わさった少子高齢社会の課題とその対策について説明している。</p>
3	<p>2 情報化で変わる社会と私たち (教科書P.10-11)</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報化とは 情報化によって変わる社会 情報化を生かすために 情報化を生かした防災への取り組み 	<p>○情報化社会の長所と短所について理解する。</p> <p>○情報を正しく判断して利用・活用する力や情報を使う考え方の大切さについて気付き、情報への接し方について考えをもつ。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>情報化社会になったことで、よくなった点と課題になっている点を理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>情報化社会において必要な情報リテラシーや情報モラルについて具体例をあげて説明している。</p>
4	<p>3 グローバル化する社会で生きる私たち (教科書P.12-13)</p> <ul style="list-style-type: none"> グローバル化とは たがいに結びつく世界 多文化共生社会と国際協力 	<p>○グローバル化の進展により社会がどのように変化してきたのかについて、関心をもつ。</p> <p>○グローバル化の長所や短所について気付き、なぜ多様性を尊重することが必要なのかについて考えをもつ。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>グローバル化の進展により、どのような変化があり、その変化の長所と短所を理解している。</p> <p>思考・判断・表現★</p> <p>グローバル化がもたらした変化について、身近な製品や事柄と関連づけながら、なぜ多様性を尊重することが必要かについて考えている。</p>

5	4 持続可能な社会と私たち (教科書 P.14-15) ・持続可能な社会とは ・大量生産の社会と豊かになった社会 ・持続可能な社会をつくるために	○世界史的な流れから、工業社会に至る流れと課題を知る。 ○なぜ、持続可能な社会をつくることが必要なのかを考察する。	知識・技能 世界史的な観点から、工業社会に至る経緯と工業社会がもたらした課題について理解している。 思考・判断・表現★ 工業社会がもつ課題や少子高齢化、女性の働きやすさ、情報通信技術の活用の観点から、なぜ持続可能な社会をつくることが必要なのかについて考えている。
—	【情報スキルアップ】 統計とグラフを使いこなそう (教科書 P.16-17)	○統計やグラフを読み取るときの注意点について知る。 ○統計やグラフを用いて現代社会の特徴を説明する。	知識・技能 統計やグラフの注意点について理解し、統計やグラフを適切に読み取っている。 思考・判断・表現 複数の統計やグラフを利用して、少子高齢化、情報化、グローバル化、持続可能な社会という現代社会の特徴について、説明している。

第2節 現代社会の文化と私たち

学習指導要領の内容：A（1）

第2節の目標	
<p>○現代社会における文化の意義や影響、日本の伝統文化の特徴と多様性について理解する。 ○文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。 ○現代社会の文化と私たちについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【単元を貫く問い】 現代社会における文化には、どのような意義と影響があるだろうか。</p>	
第2節の評価規準	<p>知識・技能 ・現代社会における文化の意義や影響、日本の伝統文化の特徴と多様性について理解している。</p> <p>思考・判断・表現 ・文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 ・現代社会の文化と私たちについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
6	1 現代社会における文化 (教科書 P.18-19) ・文化とはなんだろう ・私たちの生活と科学・芸術・宗教 ・現代における文化の課題	○文化が私たちの考え方や社会生活にどのような影響をあたえているのかについて理解する。 ○現代社会における文化の発展と課題について、これまでの学習や生活経験などをふまえて考える。	知識・技能★ 現代社会における文化の意義や影響について理解している。 思考・判断・表現 位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の発展と課題について多面的・多角的に考察し、表現している。
7	2 日本の伝統文化の特徴と多様性 (教科書 P.20-21) ・日本の伝統文化	○日本の伝統文化が豊かな自然や長い歴史のなかで受け継がれてきたことや地域文化の多様性によって日本文化の豊か	知識・技能★ 日本の伝統文化の特徴や伝統文化が現代社会にも受け継がれていることを理解している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文化の多様性 ・私たちと文化の創造 	<p>さが支えられていることを理解する。</p> <p>○身近な地域の伝統文化などに着目し、現状と課題や文化の継承と創造について、これまでの学習や生活経験をふまえて考える。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p>
8	<p>3 世界のなかの日本の文化 (教科書 P.22-23)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化と日本の文化 ・文化の多様性への共感と理解 	<p>○グローバル化が進み、地球規模での文化交流が起こっている現代社会において、日本の文化をどのように生かしていけばいいのかについてや、文化の多様性を尊重することについて主体的に考える。</p>	<p>思考・判断・表現★</p> <p>位置や空間的な広がり、推移や変化、事象や人々の相互関係などに着目し、文化の多様性を尊重することについて多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度★</p> <p>現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

第3節 現代社会の見方・考え方

学習指導要領の内容：A（2）

第3節の目標	
<p>○人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解するとともに、現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解する。</p> <p>○社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○現代社会の見方・考え方について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【単元を貫く問い】</p> <p>私たちにとってきまりとは何だろうか。現代社会を捉える枠組みを用いて考えてみよう。</p>	
第3節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間は本来社会的存在であることを基に、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。 ・現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして、対立と合意、効率と公正などについて理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の見方・考え方について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
9	<p>1 社会における私たちときまりの意義 (教科書 P.24-25)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会的存在としての人間 ・家族と社会 ・社会生活ときまり 	<p>○人間が社会的存在であることやきまりの意義について理解する。</p> <p>○社会生活でのきまりの必要性について、様々な社会集団との関係から考える。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>人間は社会的存在であり、互いの個性や考え方を尊重し合って生活するためにはきまりが必要であることを理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>社会生活においてきまりが必要である</p>

			理由を考察し、社会集団との関係から表現している。
10	2 「対立」と「合意」 －見方・考え方 その1－ (教科書P.26-27) ・対立と合意とは ・合意する方法	○社会集団では、一人一人の意見や利害の違いから対立が起こるが、互いの権利や利益が保障されるように合意がなされていることについて理解する。 ○対立を解消し合意するための望ましい方法について、様々な視点から考え、表現する。	知識・技能★ 現代社会の見方・考え方の基礎となる概念的な枠組みとしての対立と合意を理解している。 思考・判断・表現 対立を解消し合意するための望ましい方法について、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。
11	3 「効率」と「公正」 －見方・考え方 その2－ (教科書P.28-29) ・効率と公正とは ・公正な社会をつくるために	○合意するための判断基準として、無駄を省く「効率」や合意の手続きや内容についての「公正」という考え方があることについて理解する。 ○対立を解消し、合意するための効率と公正の考え方について、様々な視点から考え、表現する。	知識・技能★ 現代社会の見方・考え方の基礎となる概念的な枠組みとしての効率と公正を理解している。 思考・判断・表現 合意がなされるための判断基準としての効率と公正の考え方について、多面的・多角的に考察し、適切に表現している。
12	4 きまりを守る責任とその評価 (教科書P.30-31) ・きまりと責任 ・きまりの評価と変更	○きまりや契約の意義について理解した上で、それらを守ることでそれぞれの権利や利益が保障されていることについて理解する。 ○状況が変わればきまりを見直す必要があることに気づき、きまりの評価や変更について、5つの視点から考え、表現する。	知識・技能 きまりを契約という概念で捉え直し、きまりや契約を守ることの意義について理解している。 思考・判断・表現★ きまりを評価、変更するときの5つの視点にもとづいて、きまりの評価を行い、権利や利益、問題点などについて多面的・多角的に考察し、適切に表現している。

第2編 私たちの生活と政治

累計 時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
一	【導入】 学習の始めに 文化祭の出 しものを決めよう！ (教科書P.34-35)	○これから学習する憲法と政治 に関する様々な事象につい て、個人の尊重と法の支配、 民主主義などに着目したり、 関連付けたりして考えていく ことを、理解する。 ○身近な事例から、自分と憲法 や政治に関わる問題とのつな がりに気付き、学習に対する 関心や意欲をもつ。	知識・技能 政治単元では、個人の尊重と法の支 配、民主主義などをふまえて、憲法や政 治の課題を追究し、解決していくことを 理解している。 主体的に学習に取り組む態度 憲法や政治に関わる問題とその解決に 対する関心が高まり、意欲的に学習しよ うとしている。

第1章 個人の尊重と日本国憲法

学習指導要領の内容：C（1）

第2編第1章の目標	
	<p>○人間の尊重についての考え方や法の意義、法に基づく政治及び日本国憲法の基本的原則などについて理解する。</p> <p>○日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○個人の尊重と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>
第2編第1章の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。 ・民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解している。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の尊重と日本国憲法について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

第1節の目標	
<p>○法に基づく政治，日本国憲法の基本的原則及び天皇の地位と国事に関する行為について理解する。</p> <p>○日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察する力，思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○法に基づく政治と日本国憲法について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【単元を貫く問い】 なぜ法に基づいて政治が行われることが大切なのだろうか。</p>	
第1節の 評価規 準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立憲主義，個人の尊重及び法の支配などを基に，民主的な社会生活を営むためには，法に基づく政治が大切であることを理解している。 ・日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ・日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，日本の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し，表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法に基づく政治と日本国憲法について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で，それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
13	<p>1 私たちにとっての政治と民主主義 (教科書P.36-37)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちと政治 ・民主主義とは ・よりよい民主政治のために 	<p>○政治とはどのようなはたらきをもつものかを理解する。</p> <p>○民主主義の考え方やその決定の仕方を理解することを通して，よりよい民主政治のために必要な事柄を考える。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>民主政治において，多数決の原理に基づく決定の必要性和，その欠点について考え，様々な意見を反映し，十分な議論が必要であることを考察している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>身近な事柄や資料から，政治の役割や民主主義の意義を考えようとしている。</p>
14	<p>2 法に基づく政治と憲法 (教科書P.38-39)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憲法とは ・個人の尊重と人権の保障 ・法の支配と権力分立 	<p>○個人の尊重が実現されるためには，基本的人権を保障し，政治権力を制限する立憲主義の憲法が必要であることを理解する。</p> <p>○政治権力が公平に行使され，私たちの自由を守るために，法の支配と権力分立が必要であることを，人の支配と比較して考察する。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>立憲主義や個人の尊重，法の支配の考え方を，人の支配との比較から理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>人の支配の問題点や，法の支配の必要性を，資料をもとに考察している。</p>
15	<p>3 日本国憲法の制定と三つの基本原則 (教科書P.40-41)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大日本帝国憲法 ・日本国憲法の制定 ・世界とつながる三つの基本原則 	<p>○日本国憲法がどのような経緯で制定されたのかを理解する。</p> <p>○日本国憲法の三つの基本原則は，どのような背景から成り立ったのかを考える。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>日本国憲法の特徴を大日本帝国憲法との比較から理解している。</p> <p>思考・判断・表現★</p> <p>日本国憲法の三つの基本原則がどのような背景で成り立っているのかを，既習事項から考えている。</p>

16	4 日本国憲法と国民主権 (教科書P.42-43) ・国民主権 ・国民主権と政治参加 ・憲法改正 ・象徴としての天皇	○国民主権の意味と行使の方法や、日本国憲法における天皇の位置づけを理解する。 ○民主主義と法の支配を実現させるために、国民主権と国民の政治参加がなぜ重要なのかを考える。	知識・技能★ 国民主権の意味と行使の方法、憲法改正の手続き、象徴天皇制について理解している。 主体的に学習に取り組む態度★ 国民主権がなぜ重要なのかを、民主主義や法の支配の意義をふまえて考え、説明している。
----	---	---	--

第2節 日本国憲法と基本的人権

学習指導要領の内容：C（1）

第2節の目標	
<p>○日本国憲法を基に、人間の尊重についての考え方を理解する。</p> <p>○日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○日本国憲法と基本的人権について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【単元を貫く問い】 人間の尊重とはどういう考え方なのだろうか。</p>	
第2節の評価規準	<p>知識・技能 ・日本国憲法を基に、人間の尊重についての考え方を理解している。</p> <p>思考・判断・表現 ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 ・日本国憲法と基本的人権について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
17	1 人権思想のあゆみと日本国憲法 (教科書P.44-45) ・人権思想の誕生 ・人権思想の発展 ・日本国憲法の人権保障	○基本的人権が個人の尊重の原理に基づいていることを理解する。 ○基本的人権の獲得と発展の歴史を理解し、個人の尊重に基づく基本的人権が日本国憲法や各国の憲法において保障されていることを理解する。	知識・技能★ 基本的人権の獲得と発展の歴史を理解し、日本国憲法において保障されていること理解している。 思考・判断・表現 基本的人権の意味について、個人の尊重の視点から多面的・多角的に考察し、表現している。
18	2 自由に生きる権利 (教科書P.46-47) ・自由権とは ・精神の自由 ・生命・身体の自由 ・経済活動の自由	○個人として尊重され、個性や才能を発揮していくには、国家から干渉や妨害を受けない自由権があることを理解する。 ○自由権が侵害された場合、どのような問題が生じるかを考える。	知識・技能★ 自由権が三つの柱から構成され、それぞれの内容が日本国憲法によって保障されていることを理解している。 思考・判断・表現 自由権が侵害された場合どのような問題が生じるかについて、憲法の条文に照らし合わせて多面的・多角的に考察し、表現している。
19	3 等しく生きる権利 (教科書P.48-49) ・平等権とは	○基本的人権を基礎付ける法の下の平等の意義を理解する。 ○男女共同参画社会や障がい	知識・技能★ 平等権とはどのような権利なのかを考察し、その意義を理解している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画社会をめざして ・障がいのある人とともに生きる社会 ・日本に住んでいる外国人 	ある人とともに生きる社会を実現する施策について考える。	思考・判断・表現 男女共同参画社会や障がいのある人とともに生きる社会の実現のために、問題点やその解決について多面的・多角的に考察し、表現している。
-	【明日に向かって】 まちのバリアフリーを探そう -大阪府堺市- (教科書 P. 50-51)	○全ての人が暮らしやすい社会がなぜ大切なのかを考える。 ○バリアフリー施設の機能や目的を理解する。	思考・判断・表現 バリアフリーの社会がなぜ、全ての人に暮らしやすい社会なのかを考察し、説明している。 主体的に学習に取り組む態度 バリアフリー施設の機能や目的に関心をもち、全ての人が暮らしやすい社会の実現を視野に、身近なバリアフリー施設を意欲的に探そうとしている。
20	4 差別のない社会へ (教科書 P. 52-53) <ul style="list-style-type: none"> ・部落差別 ・アイヌ民族への差別 ・在日韓国・朝鮮人差別 	○現在も存在する部落差別、アイヌ民族への差別、在日韓国・朝鮮人差別の問題を解決し、共に生きる社会を実現するための施策について考える。	知識・技能 現在も存在する差別について調べ、平等な社会を実現することの大切さを理解している。 思考・判断・表現★ 差別をなくすために大切なことは何かを考え、差別を解消するための努力を、多面的・多角的に考察し、表現している。
21	5 人間らしい生活を営む権利 (教科書 P. 54-55) <ul style="list-style-type: none"> ・社会権とは ・生存権 ・教育を受ける権利 ・勤労の権利と労働基本権 	○社会権が生まれた背景をふまえ、社会権で保障されている内容を理解する。 ○具体的な事例から、人間らしい生活を保障することとはどのようなことかを考える。	知識・技能★ 社会権の各権利についての内容や意義を理解している。 思考・判断・表現 社会権が、私たちの生活を、どのように人間らしい生活ができるように保障しているのかを説明している。
22	6 人権の保障を確実にするために (教科書 P. 56-57) <ul style="list-style-type: none"> ・参政権 ・法による救済を求める権利 (請求権) ・人権を守るためのしくみ 	○参政権や請求権の重要性について考える。 ○参政権や請求権が、それぞれどのように人権を保障しているのかを理解する。	知識・技能★ 参政権や請求権などについての内容や意義を理解している。 思考・判断・表現 参政権や請求権が、それぞれどのように人権を保障しているのかを説明している。
23	7 社会の変化と人権保障 -情報化と人権- (教科書 P. 58-59) <ul style="list-style-type: none"> ・新しい人権とは ・知る権利 ・プライバシーの権利 	○なぜ新しい人権が主張されるようになったのかを理解する。情報化に関わる人権の意義と内容を理解する。 ○情報化に関わる新しい人権について、社会の変化をふまえて考察し、説明する。	知識・技能★ 新しい人権の意義や内容を理解している。 思考・判断・表現★ 新しい人権が、なぜ主張されるようになったのかを、情報化に関わる社会の変化をふまえて説明している。
-	【情報スキルアップ】 「ネット社会」とつき合う方法 (教科書 P. 60-61)	○ネット社会の利便性と危険性について理解する。 ○ネット社会を生きるうえで必要な態度や知識を身につけている。	知識・技能 ネット社会にはどのような危険があるかを理解し、個人情報や情報機器を適切に取り扱っている。 思考・判断・表現

			ネットによるトラブルに巻き込まれないようにするためには、何が大切かを説明している。
24	8 社会の変化と人権保障 —科学技術と人権— (教科書 P. 62-63) ・環境権 ・自己決定権 ・科学技術の発展と人権	○科学技術の発展に関わる新しい人権の意義と内容を理解する。 ○科学技術の発展に関わる新しい人権について、社会の変化を踏まえて考察し、説明する。	知識・技能★ 新しい人権についての内容や意義を理解している。 思考・判断・表現 新しい人権が、なぜ主張されるようになったのかを、科学技術の発展に関わる社会の変化を踏まえて説明している。
25	9 国際的な人権の保障 (教科書 P. 64-65) ・人権保障の国際的な広がり ・グローバル化と人権保障	○国際的な人権保障がどのように展開されたのかを理解する。 ○現存する国際的な人権課題を捉え、その解決の方向性について思考・判断・表現する。	知識・技能★ 国際的な人権保障の展開について理解している。 思考・判断・表現 国際的な人権保障の課題について、文化や制度の観点から考えている。
26	10 公共の福祉と国民の義務 (教科書 P. 66-67) ・人権と公共の福祉 ・国民の義務	○基本的人権と公共の福祉との関係について理解する。 ○公共の福祉が認められる場合について説明する。	知識・技能★ 公共の福祉の意味を理解している。 思考・判断・表現★ 個人の人権が制限される場合について、他者の人権との関係性から説明している。
—	【明日に向かって】 15歳は「子ども」？ それとも「大人」？ (教科書 P. 68-69)	○未成年者に対する法律による年齢制限があることを理解する。 ○子どもと大人の違いをふまえて、年齢制限の目的を説明する。	知識・技能 民法や労働基準法によって権利に年齢制限があることを理解している。 思考・判断・表現 法律による年齢制限について、子ども自身の権利や自由を守るためであることを説明している。

第3節 日本の平和主義

学習指導要領の内容：C（1）

第3節の目標	
<p>○日本国憲法が定めている平和主義について理解を深める。</p> <p>○日本国憲法が定める平和主義について多面的・多角的に考察したり、日本の平和主義のあり方について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○日本の平和主義について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【単元を貫く問い】 日本の平和主義は、どのように生かされていくべきだろうか。</p>	
第3節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法が定めている平和主義について理解を深めている。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、日本の平和主義のあり方について多面的・多角的に考察・構想し、表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の平和主義について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
27	1 日本国憲法の平和主義 (教科書 P.70-71) ・日本国憲法の前文と第9条 ・自衛隊と自衛権	○日本国憲法が定めている平和主義を理解する。 ○日本の平和主義のあり方を、日本国憲法の条文や資料をもとに考える。	知識・技能★ 日本国憲法が定める平和主義について理解している。 思考・判断・表現 これからの日本の平和主義のあり方を日本国憲法条文や資料をもとに考えている。
28	2 日米安全保障条約と日本の国際貢献 (教科書 P.72-73) ・日米安全保障条約と日本の安全保障 ・集団的自衛権と政府の憲法解釈の変更 ・自衛隊の国際貢献	○日本における自衛隊の役割と、日米安全保障条約に基づく日米関係について理解する。 ○日本国憲法の平和主義に基づいて、これからの日本の安全保障について考える。	知識・技能 自衛隊の役割と日米安全保障条約の日米関係について理解している。 思考・判断・表現★ 日本国憲法の平和主義に基づいて、集団的自衛権をふまえた日本の安全保障について自分の意見をまとめている。
29	【チャレンジ公民】 道路の拡張計画について考えよう (教科書 P.74-75)	○公共の福祉は対立を調整する原理であるが、その使用については慎重な対応が求められることを理解する。 ○道路拡張計画に対して、自分の意見を効率と公正、個人の尊重の視点をふまえて考察し、表現する。	知識・技能 公共の福祉は対立を調整する原理であるが、その使用については慎重な対応が求められることを理解している。 思考・判断・表現★ 個人の尊重と公共の福祉を観点として自分の意見を表明している。

第2章 国民主権と日本の政治

第2編第2章の目標	
	<p>○日本の政治のあらましや政党の役割、議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方、法に基づく公正な裁判の保障及び地方自治の基本的な考え方について理解する。</p> <p>○民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○国民主権と日本の政治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>
第2章の 評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会を中心とする日本の政治のしくみのあらましや政党の役割を理解している。 ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解している。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ・地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に、地方自治の基本的な考え方について理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民主権と日本の政治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

第1節の目標	
<p>○日本の政治のしくみのあらましや政党の役割，議会制民主主義の意義，選挙の意義としくみ，多数決の原理とその運用のあり方について理解する。</p> <p>○民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察したり，公正に判断したりする力，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【単元を貫く問い】 民主政治をよりよく運営していくために，私たちはどのように政治に関わっていけばよいだろうか。</p>	
第1節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の政治のしくみのあらましや選挙の意義としくみ，政党の役割を理解している。 議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用のあり方について理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で，それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
30	<p>1 民主政治のしくみ (教科書 P. 78-79)</p> <ul style="list-style-type: none"> 政治のはたらきと権力分立 民主主義に基づく政治 政治参加するしくみと少数意見の尊重 	<p>○国民が主権者である政治のしくみが民主政治であることを理解する。</p> <p>○主権者の政治参加には二つの方法があることを理解し，ものごとを決定するときを使う多数決にも課題があることを考察する。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>民主政治のしくみの基本と，主権者が政治に参加する2種類の方法を理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>多数決にも課題があり，努力をしななければならないことを考察している。</p>
31	<p>2 選挙の意義としくみ (教科書 P. 80-81)</p> <ul style="list-style-type: none"> 民主政治と選挙 選挙制度 日本の選挙制度の問題点 	<p>○間接民主制における選挙の原則を考え，日本で用いられている選挙制度を理解する。</p> <p>○日本の選挙制度の課題について，考察する。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>間接民主制における選挙の原則と，日本で採用されている選挙制度の特徴を理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>日本の選挙制度における課題を考察している。</p>
32	<p>3 国民と政治をつなぐ政党 (教科書 P. 82-83)</p> <ul style="list-style-type: none"> 政党の役割 政党政治 日本の政党 	<p>○間接民主制では，政党は国民と議会を結ぶために必要であり，国の政治は，政党政治によって運営されていることを理解する。</p> <p>○日本で近年，連立政権が組織されている理由を考察する。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>政党の役割と，間接民主制では政党政治によって運営されている理由について理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>日本は多党制であり，近年は連立政権が組織されている理由について考察している。</p>

33	4 政治参加と世論 (教科書 P. 84-85) ・政治参加 ・世論とマスメディア ・政治とメディア・リテラシー	○政治に参加するには様々な方法があることを理解する。 ○世論の形成には、マスメディアが大きな影響を持っているが、これからは情報を正しく判断し活用する能力の育成が重要になることに興味をもち、考察する。	思考・判断・表現★ 民主政治の成立には国民の政治参加と世論への対応が重要であることを考察している。 主体的に学習に取り組む態度★ 選挙年齢の引き下げに伴い、積極的に政治参加をし、より良い社会づくりに参画しようとしている。
—	【情報スキルアップ】 新聞の読み方と伝え方を学ぼう (教科書 P. 86-87)	○報道はマスメディアの姿勢や価値観によって規定されていることが理解する。 ○情報を公正に判断し活用できる能力の育成が必要であることを考察する。	知識・技能 情報の伝え方には伝える側の意図があることを理解している。 主体的に学習に取り組む態度 情報を多角的に批判的に読み取り、社会の事実を公正な観点から捉えようとする態度を培おうとしている。

第2節 国の政治のしくみ

学習指導要領の内容：B（2）

第2節の目標	
<p>○国会を中心とする国の政治のしくみのあらましや議会制民主主義の意義、法に基づく公正な裁判の保障について理解する。</p> <p>○民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○国の政治のしくみについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【単元を貫く問い】 なぜ、国の政治のしくみに議会制民主主義が取り入れられ、公正な裁判の保障がなされているのだろうか。</p>	
第2節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国会を中心とする我が国の民主政治のしくみのあらましを理解している。 ・議会制民主主義の意義、多数決の原理とその運用のあり方について理解している。 ・国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、議院内閣制や法に基づく公正な裁判の保障などと国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の政治のしくみについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
34	1 国会の地位としくみ (教科書 P. 88-89) ・国会の地位 ・二院制 ・衆議院の優越 ・国会議員の身分保障	○間接民主制の代表的な体制である議会制民主主義、及び国会のしくみを民主主義の視点から理解する。 ○二院制や衆議院の優越について、その意義を考える。	知識・技能★ 国会は国民の代表者で構成されており、それは国権の最高機関、かつ国の唯一の立法機関であることを理解している。 思考・判断・表現 国会が二院制や衆議院の優越を認めている理由を、効率・公正、民主主義の観点から考察している。

35	2 国会の仕事 (教科書 P. 90-91) ・国会の仕事 ・国会の種類と運営	○国会の仕事を理解する。 ○なぜ多くの時間をかけて立法するのかを考え、法律の制定過程を説明する。	知識・技能★ 国会の仕事や運営について、その特徴や種類について理解している。 思考・判断・表現 時間と手間をかけて行われる立法の過程について、対立と合意、民主主義の観点からその理由について考察している。
36	3 内閣のしくみと議院内閣制 (教科書 P. 92-93) ・内閣の仕事 ・内閣のしくみ ・議院内閣制	○内閣の仕事としくみを理解する。 ○議院内閣制について、民主主義に着目しながら国会との関係を説明する。	知識・技能★ 内閣のしくみや仕事の具体的な内容について理解している。 思考・判断・表現 議院内閣制と大統領制を比較し、議院内閣制の内閣と国会の関係について、民主主義の観点から考察している。
37	4 行政権の拡大と国民の生活 (教科書 P. 94-95) ・行政の活動と公務員 ・行政権の拡大 ・行政改革	○行政権の拡大がどのように国民生活へ影響するかを理解する。 ○国民生活と関連して、行政改革の必要性を説明する。	知識・技能 たてわり行政などの行政権の拡大が国民生活にどのように影響をもたらすかを理解している。 思考・判断・表現★ 行政改革が効率・公正の観点から国民生活へ影響を与えることを考察している。
-	【明日に向かって】 災害に強いくらしをきずく (教科書 P. 96-97)	○災害時に必要な自助・共助・公助の意義と内容を理解する。 ○災害に強いくらしを築くためにできることを、個人の課題として関心をもち、考える。	知識・技能 災害に対する国や地方公共団体、個人の役割や取り組みについて、身近な事例をもとに理解している。 主体的に学習に取り組む態度 東日本大震災や身近な地域の実例をもとに、災害に強いくらしや地域を形成させるために何が必要かを自らの課題として追究している。
38	5 法を守る裁判所 (教科書 P. 98-99) ・法と裁判 ・司法権と裁判所 ・司法権の独立と公正な裁判 ・違憲審査制	○裁判所が司法権、違憲審査権をもち、法の支配や立憲主義を守ることで、個人の尊重を支えていることを理解する。 ○公正な裁判を行うためのしくみが、どのように私たちの人権を守ることにつながっているのかを考えて説明する。	知識・技能★ 裁判所は、裁判による対立の解決や違憲審査を行い、法の支配や立憲主義、個人の尊重を支える役割を担っていることを理解している。 思考・判断・表現 公正な裁判のためにはどのようなしくみが必要であるかを、それぞれのしくみの意義とともに説明している。
39	6 裁判のしくみと人権の尊重 (教科書 P. 100-101) ・民事裁判 ・刑事裁判 ・裁判と人権尊重	○刑事裁判と民事裁判の違いを整理し、それぞれのしくみを理解する。 ○刑事裁判のルールを意義を考えることで、裁判と人権の関わりについての考えを深める。	知識・技能★ 資料から刑事裁判と民事裁判のそれぞれのしくみを理解している。 思考・判断・表現 裁判と人権の関わりに触れながら、刑事裁判のルールの意義を考え、説明している。
40	7 私たちの司法と裁判員制度	○司法制度の課題と司法制度改革について理解する。	知識・技能★ 司法制度改革の内容と目的を理解して

	(教科書 P.102-103) ・ 私たちに身近な司法 ・ 裁判員制度 ・ 刑事裁判手続きの変化	○司法のはたらきや裁判員制度について理解したことをふまえ、どのように司法にかかわっていくかを考える。	いる。 主体的に学習に取り組む態度 裁判員裁判の意義を考え、自分が司法にどのように関わっていくかを考えている。
—	【明日に向かって】 裁判員裁判シミュレーション (教科書 P.104-105)	○具体的な事例をもとに判決を考えるなかで、裁判の原則や考え方への理解を深める。 ○裁判員裁判のシミュレーションを行うなかで、裁判の原則や考え方をういて判決を考える。	知識・技能 裁判の原則や考え方への理解を深めている。 思考・判断・表現 裁判の原則や考え方に注意しながら裁判員裁判のシミュレーションを行い、判決を考えている。
41	8 三権分立と政治参加 (教科書 P.106-107) ・ 国民主権と三権分立 ・ 私たちが決める日本の政治 ・ 地方政治の学習へ	○国会、内閣、裁判所のはたらきが具体的にどのように権力の均衡に役立っているのかを理解する。 ○三権に対する国民の主権者としての役割を理解して、政治参加に関わる課題と自分がどのように政治参加すればよいかを考える。	知識・技能 国会、内閣、裁判所のたがいに対するはたらきと、三権に対して国民が主権者として行えることを理解している。 主体的に学習に取り組む態度★ 主権者としての国民の役割を理解し、自分がどのように政治に参加していくかを考えている。

第3節 くらしを支える地方自治

学習指導要領の内容：B（2）

第3節の目標	
<p>○地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に地方自治の基本的な考え方について理解する。 ○よりよい地域社会を作ることと、住民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ○くらしを支える地方自治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【単元を貫く問い】 地方政治をよりよく運営していくためにはどうすればよいだろうか。</p>	
第3節の評価規準	<p>知識・技能 ・ 地方公共団体の政治のしくみ、住民の権利や義務を基に地方自治の基本的な考え方について理解している。</p> <p>思考・判断・表現 ・ 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、よりよい地域社会を作ることと、住民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 ・ くらしを支える地方自治について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
42	1 私たちのくらしと地方自治 (教科書 P.108-109) ・ 私たちの住む地域 ・ くらしと地方自治	○地方自治体が地域の実態に応じた取り組みを行っていることに気付き、それぞれの取り組みと地域住民の関わり方を考察する。	知識・技能 よりよい地方自治を実現するためには民主主義の考えに基づく地域住民の主体的な参加と合意の積み重ねが必要であることを理解している。

	<p>・ 地方分権</p>	<p>○多様な特徴をもつ地域でよりよい地方自治を実現するためには、民主主義の考えに基づく地域住民の主体的な参加が必要であることを理解する。</p>	<p>思考・判断・表現 地方自治体が地域の実態に応じた取り組みを実施していることを知り、それぞれの取り組みと地域住民の関り方を考察している。</p>
43	<p>2 地方自治のしくみ (教科書P.110-111) ・ 地方公共団体とは ・ 首長と地方議会の役割</p>	<p>○地方公共団体における首長と地方議会の役割について理解する。 ○民主主義に基づく地方公共団体の政治のしくみについて説明する。</p>	<p>知識・技能★ 地方公共団体における首長と地方議会の役割について理解している。 思考・判断・表現 地方公共団体による政治のしくみについて、住民、首長、地方議会の関係に着目して説明している。</p>
44	<p>3 地方自治と国の関係 (教科書P.113-114) ・ 財政における国と地方の関係 ・ 地方分権のうごき ・ 市町村合併の動き</p>	<p>○国と地方公共団体の関係について、地方財政のしくみという観点から理解する。 ○地方財政の課題について、地方財政における自主財源と依存財源の割合に着目して説明する。</p>	<p>知識・技能★ 国と地方公共団体の関係について、地方財政のしくみという観点から理解している。 思考・判断・表現 地方財政が抱えている課題について、地方財政における自主財源と依存財源の割合に着目して説明している。</p>
45	<p>4 地方自治と私たち (教科書P.114-115) ・ 住民の政治参加を広げるしくみ権利 ・ 住民参加と地域づくり ・ NPO とボランティアの地域における役割</p>	<p>○地域住民が地方自治に参加するための権利と、その権利に基づいて定められている制度を理解する。 ○よりよい地域社会をつくるためには、地域住民による主体的な政治参加が大切であることに気付き、身近な地域の現状や課題に関心を高める。</p>	<p>知識・技能★ 地域住民が地方自治に参加するための権利と、その権利に基づいて定められている制度を理解している。 主体的に学習に取り組む態度★ よりよい地域社会を作るためには地域住民による主体的な政治参加・社会参画が大切であることに気付き、身近な地域の現状や課題に関心を高めている。</p>
-	<p>【明日に向かって】 まちづくりに参加しよう －千葉県船橋市「子ども未来会議室」－ (教科書P.116-117)</p>	<p>○身近な地域に関する環境改善などの身近なまちづくりの調査活動を通して、考えをまとめる。 ○地域の生活は政治と密接な関わりをもつことを理解し、社会参画へ関心や意欲をもつ。</p>	<p>知識・技能 地域住民の社会参画と政治が結びついていることを理解している。 主体的に学習に取り組む態度 身近な地域の環境や福祉などの問題について関心をもち、社会参画への意欲を高めている。</p>
46	<p>【チャレンジ公民】 自分たちのまちの首長を選ぼう (教科書P.118-119)</p>	<p>○身近な地域が抱えている課題を意欲的に考え、その解決策を公約として表現する。 ○よりよい地域社会を作るためには適切な政策を選択する能力が必要であると理解し、その能力の習得に関心を高める。</p>	<p>思考・判断・表現★ 身近な地域が抱える課題について意欲的に考え、その解決策を公約として表現している。 主体的に学習に取り組む態度★ よりよい地域社会を作るために適切な政策を選択する能力の習得に関心を高めている。</p>

第3編 私たちの生活と経済

第3編の目標	
<p>○身近な消費生活を中心に経済活動の意義，市場経済の基本的な考え方，現代の生産や金融などのしくみや働き，勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の内容，社会資本の整備，環境の保全，社会保障の充実・安定化，消費者の保護，財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解する。</p> <p>○個人や企業の経済活動における役割と責任，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善，財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察したり，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について公正に判断したりする力，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○私たちの生活と経済について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>	
第3編の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な消費生活を中心に経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方，現代の生産や金融などのしくみや働き，勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の内容について理解している。 財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解するとともに，社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，個人や企業の経済活動における役割と責任，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善，財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察，表現している。 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察・構想し，表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活と経済について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

累計時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
—	<p>【学習の始めに】 (教科書 P. 122-123)</p>	<p>○これから学習する経済に関する様々な事象について，分業と交換，希少性などに着目したり，関連付けたりして考えていくことを，理解する。</p> <p>○身近な事例から，自分と経済とのつながりに気づき，学習に対する関心や意欲をもつ。</p>	<p>知識・技能</p> <p>経済単位では，分業と交換，希少性などをふまえて，経済の課題を追究し，解決していくことを理解している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>経済に関わる問題とその解決に対する関心が高まり，意欲的に学習しようとしている。</p>

第1節の目標	
<p>○身近な消費生活を中心に経済活動の意義，市場における価格の決め方や資源の配分を基に市場経済の基本的な考え方について理解する。</p> <p>○消費者の役割と責任について多面的・多角的に考察する力，思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○消費生活と経済のしくみについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【単元を貫く問い】 消費者は経済活動においてどのような役割と責任があるのだろうか。</p>	
第1節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 ・市場における価格の決め方や資源の配分を基に，市場経済の基本的な考え方について理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，消費者の役割と責任について多面的・多角的に考察し，表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で，それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
47	<p>1 経済のしくみ (教科書 P.124-125)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限りない欲求と限りある資源 ・資源と選択の効率性 ・経済の循環 	<p>○私たちや社会は様々な選択にせまられているが，限りある資源をむだなく使い，効率的な生産をする選択が求められていることを理解する。</p> <p>○希少性と選択の視点から，私たちのくらしの中での資源の効率のよい生産と利用や，経済活動は，家計・企業・政府によって行われ，それぞれに影響を与えていることを考察する。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>限られた時間やお金の中で，すべてを実現したり，買ったりすることは不可能であることを，具体的な選択の場面から理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>経済全体の図を見ながら，希少性と選択という視点から，私たちのくらしの中での資源の効率のよい生産や利用を考察している。</p>
48	<p>2 経済活動の意義 (教科書 P.126-127)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分業と交換の大切さ ・分業が進んだ生産活動 ・豊かな生活のために 	<p>○経済活動は分業と交換で成り立ち，それが豊かさにつながっていることを理解する。</p> <p>○経済を支える分業と交換が，なぜ私たちの生活に豊かさをもたらすのかを，効率に着目して説明する。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>経済活動は，分業と交換で成り立っていて，それが豊かさにつながっていることを，具体的な例から理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>なぜ分業と交換が私たちの生活に豊かさをもたらすのかを，効率という視点から考察し，表現している。</p>
49	<p>3 私たちの消費生活 (教科書 P.128-129)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・くらしと消費 ・家計の収入と支出 ・消費生活とお金 	<p>○消費生活は，希少な所得を用いて行われていることを理解する。</p> <p>○よりよい消費生活を営むために大切なことを，多面的に考え説明する。</p>	<p>知識・技能</p> <p>財やサービスを消費することで生活の豊かさをもたらされ，希少な所得を使って消費が行われることを理解している。</p> <p>思考・判断・表現★</p> <p>限りある所得は将来を見据えて，また，支払い方も考えながら，計画的に消費や貯蓄をすることの意味を，資料を使って説明している。</p>

50	4 消費者の権利と自立を支える政府のはたらき (教科書 P.130-131) ・消費を支える契約 ・消費者主権と消費者問題 ・政府による消費者保護	○消費は契約にもとづいておこなわれ、それが自由な経済活動を支えるしくみであることを理解する。 ○生産者と消費者の間には情報格差があることから、そのため政府が行う政策を、公正の観点から説明している。	知識・技能★ 消費は契約に基づいて行われていることと、生産者と消費者間には情報格差があることを理解している。 思考・判断・表現 政府がなぜ、消費者保護政策を行っているのか、公正に着目して考察し、説明している。
51	5 ものの流れと情報の流れ (教科書 P.132-133) ・小売と卸売 ・様々な流通のしくみ ・情報化の消費者や企業への影響	○流通の役割を知るとともに、流通のしくみや合理化によって何が効率的になったかを理解する。 ○情報化の進展によりおきた流通のしくみ面での変化を、多角的に理解し説明する。	知識・技能 流通の役割を知るとともに、流通の合理化が進んでいることを「効率」の視点から理解している。 思考・判断・表現★ 情報通信技術の発達による変化を多角的に捉え、よい点と課題を考察している。
52	6 市場のしくみと価格の決め方 (教科書 P.134-135) ・価格の役割 ・価格の決め方 ・価格と資源の使われ方	○価格の役割と価格の決め方について理解する。 ○価格には人的資源や物的資源を効率よく配分するはたらきがあることを理解し、市場経済とは何かをより主体的に学んでいる。	知識・技能 価格の役割を理解し、価格の決め方をグラフ等から理解している。 主体的に学習に取り組む態度★ 価格には資源を効率よく配分するはたらきがあることを理解し、市場経済とはどんな社会かを探究しようとしている。

第2節 生産の場としての企業

学習指導要領の内容：B（1）

第2節の目標	
<p>○現代の生産などのしくみや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の内容について理解する。</p> <p>○企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○生産の場としての企業について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【単元を貫く問い】 個人が働くことの意味は何だろうか。企業には経済活動においてどのような役割と責任があるのだろうか。</p>	
第2節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の生産などのしくみや働きを理解している。 ・勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の内容について理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し、表現している。 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
53	1 生産活動とそのしくみ (教科書 P.136-137)	○様々な生産活動について、具体的な例を通して考える。	知識・技能★ 生産には、知的資源を含む生産要素が

	<ul style="list-style-type: none"> ・企業とは ・生産に必要なもの ・知的資源と技術革新 	<p>○生産のしくみを、生産要素と知的資源、技術革新に着目して考える。</p>	<p>必要であることを理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>様々な生産活動について、具体的な例を通して説明し、利潤を大きくするためには知的資源や技術革新が重要であることを考えている。</p>
54	<p>2 株式会社のしくみと企業の社会的責任 (教科書P.138-139)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社のしくみ ・株式市場 ・企業の社会的責任 	<p>○株式会社のしくみについて理解する。</p> <p>○企業の社会的責任について身近な例を挙げて考察し、説明する。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>株式会社のしくみについて理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>企業の社会的責任について身近な例を挙げて考察し、説明している。</p>
55	<p>3 企業の競争と独占の問題 (教科書P.140-141)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済 ・生産の集中と独占 ・公共料金 	<p>○資本主義経済の特徴と、市場ではたらく競争のよい点について理解する。</p> <p>○生産の集中の問題を、企業や消費者の立場から効率・公正の視点を活用して考え、表現する。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>資本主義経済の特徴と、市場ではたらく競争のよい点について理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>生産の集中の問題を、企業や消費者の立場から、効率・公正の視点を活用して考え、自分の言葉で表現している。</p>
56	<p>4 グローバル化する経済と現代の企業 (教科書P.142-143)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化による企業競争 ・自由貿易を保つために 	<p>○資料から企業活動の変化を読み取り、表現する。</p> <p>○グローバル化における企業活動の変化によって生じる課題とその対応について考える。</p>	<p>知識・技能</p> <p>グローバル化における企業活動の変化によって生じる課題とその対応について理解している。</p> <p>思考・判断・表現★</p> <p>国境をこえた分業と交換によって発生する対立について考え、自分の言葉で表現している。</p>
57	<p>5 企業活動と景気の変動 (教科書P.144-145)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景気の変動と企業 ・デフレとインフレ ・経済成長とこれからの日本経済 	<p>○市場経済での景気の変動と経済活動の関係を理解する。</p> <p>○景気の変動によって私たちの生活や企業はどのような影響を受けるのか考える。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>景気の変動と経済活動の関係を理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>景気の変動によって私たちの生活や企業はどのような影響を受けているのか考えている。</p>
58	<p>6 働く意味と労働者を支えるしくみ (教科書P.146-147)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ働くのか ・労働者と企業の関係 ・労働組合 	<p>○将来働くにあたって自分が大切にしたいことについて考える。</p> <p>○労働者を保護するための労働保護法制の意義と、その具体的な内容について理解する。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>労働者の立場を踏まえ、法により労働者が守られていることやどのように働くことがよりよいことなのかを考えている。</p>
59	<p>7 変化する雇用のかたち (教科書P.148-149)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本的な雇用の変化 ・非正規雇用の増加 	<p>○現代の雇用に見られる変化とその課題について理解する。</p> <p>○労働環境の変化に伴って発生している諸課題について、考察する。</p>	<p>知識・技能</p> <p>雇用や賃金のあり方を見直す企業が増えてきていることと、それに伴って発生している課題について理解している。</p> <p>思考・判断・表現★</p> <p>労働環境の変化に伴って発生している課題について考察している。</p>

60	8 女性の働く環境と高齢者雇用 (教科書P.150-151) ・女性の働き方 ・高齢者雇用 ・生活を守るセーフティネット	○女性の雇用について、その変化と課題を理解する。 ○多面的・多角的な視点から、現代の雇用のあり方について、考える。	思考・判断・表現★ 社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度★ 女性、高齢者の雇用と失業について、その課題を理解し、自らの将来の職業について関心を高めている。
—	【明日に向かって】 職業について調べてみよう (教科書P.152-153)	○将来、どのような仕事に就きたいか、そのためにはどのような知識が必要なのかを具体的に考える。	知識・技能 将来、どのような仕事に就きたいか、そのためにはどのような知識が必要なのか、理解している。 主体的に学習に取り組む態度 将来、自分がやりたい仕事について、収集した資料の中から、役立つ情報を適切に選択して、まとめることに意欲をもって取り組んでいる。

第3節 金融のしくみとお金の価値

学習指導要領の内容：B（1）

第3節の目標	
<p>○現代の金融などのしくみや働きについて理解する。 ○金融によって企業や個人が結びついて成り立っている経済活動の意義について多面的・多角的に考察する力、思考・判断したことを説明する力を養う。 ○金融のしくみとお金の価値について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。 【単元を貫く問い】 なぜ金融というしくみが必要なのだろうか。</p>	
第3節の評価規準	<p>知識・技能 ・現代の金融などのしくみや働きについて理解している。 思考・判断・表現 ・対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、金融によって企業や個人が結びついて成り立っている経済活動の意義について多面的・多角的に考察し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度 ・金融のしくみとお金の価値について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。</p>

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
61	1 金融のしくみ (教科書P.154-155) ・お金のもつ役割 ・金融とは ・銀行のはたらき	○直接金融と間接金融、金融機関の役割を理解する。 ○お金が希少なものであることを身近な事例を基に捉え、金融が行われることの意義について考える。	知識・技能★ 銀行の役割を知ることで、金融機関が経済活動になくはならないものであることを理解している。 思考・判断・表現 お金の希少性をふまえて、金融によって企業や個人が結びつくことで成り立つ経済活動のしくみについて考えている。
62	2 日本銀行と金融政策 (教科書P.156-157) ・日本銀行のはたらき	○日本銀行の3つの役割について理解する。 ○日本銀行の行う金融政策が、	知識・技能★ 日本銀行の3つの役割を理解し、一般の銀行との相違を理解している。

	<ul style="list-style-type: none"> 金融政策 金融のしくみを安定させるために 	<p>経済状態の応じてどのような働きをし、景気を安定させようとしているのかを説明する。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>教科書の図から、日本銀行の金融政策のしくみを読み取り、経済活動に応じた政策の違いについて考察している。</p>
63	<p>3 金融のグローバル化と為替相場 (教科書 P.158-159)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際取引の増加と外国為替 円高と円安 為替相場の変化の影響 	<p>○円とドルを交換する必要について考え、為替相場のしくみと、為替相場が変動するしくみを理解する。</p> <p>○為替相場が変動することで、私たちの生活や企業がどのような影響を受けるのかを考察し、説明する。</p>	<p>知識・技能</p> <p>為替相場のしくみを理解し、為替相場から円と外貨とを交換した際の換算をしている。</p> <p>思考・判断・表現★</p> <p>為替相場の変動によって個人や企業がどのような影響を受けるのかを考察し、円高と円安それぞれのよい面と悪い面について説明している。</p>

第4節 財政と国民の福祉

学習指導要領の内容：B（2）

第4節の目標	
<p>○財政及び租税の意義、国民の納税の義務、社会資本の整備、環境の保全、社会保障、消費者の保護について理解する。</p> <p>○個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察したり、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○財政と国民の福祉について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【単元を貫く問い】 なぜすべての経済活動を市場の働きだけに任せておくことができないのだろうか。</p>	
第4節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察、表現している。 対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目して、市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察・構想し、表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 財政と国民の福祉について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計 時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
64	<p>1 財政のはたらき (教科書 P.160-161)</p> <ul style="list-style-type: none"> 財政の役割 財政の収入と支出 	<p>○国民生活を支える国や地方公共団体が行う財政の役割について理解する。</p> <p>○財政の経済活動がどのように私たちの生活とかかわり、私たちの生活を守っているのか思考・判断・表現する。</p>	<p>知識・技能★</p> <p>財政と私たちの生活との関わりや主な歳入や歳出の項目内容を理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>財政という経済活動はどのような目的で行われているかを、私たちの生活との結びつきと結び付けて説明している。</p>

65	2 国の収入を支える税と国債 (教科書 P. 162-163) ・公正な税とは ・国債の発行と負担	○税の種類や納め方や国債発行の理由や問題点について理解する。 ○税負担を公正にするためのしくみの重要性と課題について説明する。	知識・技能★ 税の種類や納め方のしくみと国債発行の意義や問題点について理解している。 思考・判断・表現★ 公正な税負担のあり方や課題と国債発行の問題点について考察している。
66	3 社会保障のしくみ (教科書 P. 164-165) ・生存権と社会保障 ・社会保障制度	○自助努力だけでは限界があり、家族・地域・会社での支えも行われていることに気づき、その上で社会保障が必要であることを理解する。 ○社会保障の制度の概要を理解し、「小さな負担」で保障を受けることができる「支え合い」が結局は、個人や社会のためになっていることに気づく。	知識・技能★ 社会保障制度について、その内容や目的を理解している。 思考・判断・表現 社会保障制度のメリットを、効率や公正、将来への不確実性など、多面的・多角的な視点から考察している。
67	4 少子高齢社会における福祉の充実と財源 (教科書 P. 166-167) ・少子高齢社会を支えるものの ・福祉の充実をめざして ・持続可能な社会保障へ	○日本の社会保障制度には財源の問題があり、給付と負担のバランスを持続可能なものにする必要があることを理解する。 ○社会保障制度の抱える問題について、持続可能な制度にしていくための手立てを考える意欲を高める。	知識・技能★ 日本の社会保障制度には財源の問題があり、給付と負担のバランスを持続可能なものにする必要があることを理解している。 主体的に学習に取り組む態度 社会保障制度の抱える問題について、持続可能な制度にしていくための手立てを考える意欲を高めている。
—	【明日に向かって】 年金のしくみについて知ろう (教科書 P. 168-169)	○公的年金制度について、老齢年金だけでなく障害年金や遺族年金のしくみがあることや、学生納付特例制度があることを理解する。 ○自分から社会保障制度に関する正確な情報を集めようとすることの重要性について、自らの課題として関心を持つ。	知識・技能 公的年金制度について、障害年金や遺族年金のしくみや学生納付特例制度があることなどを理解している。 主体的に学習に取り組む態度★ 自分から社会保障制度に関する正確な情報を集めようとすることの重要性について、自らの課題としての関心を持っている。
68	5 環境保全の担い手としての政府 (教科書 P. 170-171) ・公害問題の発生と改善 ・広がる環境問題と政府の対策 ・政府と企業の協力関係	○環境保全は、政府(や地方自治体)が積極的に役割を果たすことが必要な事項であることを理解する。 ○環境保全の方法には、基準や規制、好ましい行動を後押しする、協力しやすいしくみづくりがあるという、多面的・多角的な見方を習得する。	知識・技能★ 環境保全のための政府の役割について、経済の視点から理解している。 思考・判断・表現 自分の住む地域でとられている環境に対する政策を理解し、その政策の意味や理由を追究している
69	【チャレンジ公民】 社会保障のあり方について考えよう (教科書 P. 172-173)	○財政の役割で学習した見方や考え方をを用いて、政策の理念や具体的な影響について考察を行う。 ○「年金のしくみについて知ろう」で学んだ内容をもとに、	思考・判断・表現★ 学習してきた社会的な見方や考え方をを用いて、持続可能な社会保障について考察している。 主体的に学習に取り組む態度★ 社会保障についての興味や関心を深

		根拠に基づき意見やアイデアを出し合う。	め、自ら資料を収集したり、実情を調べたりしている。
--	--	---------------------	---------------------------

第4編 私たちと国際社会

第4編の目標	
	<p>○領土と国家主権，国際連合の働きなどの基本的な事項を基に，世界平和の実現と人類の福祉の増大のために，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であること，地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解する。</p> <p>○文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に，日本の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察したり，公正に判断したりする力，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○私たちと国際社会について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p>
第4編の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領土と国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項を基に，世界平和の実現と人類の福祉の増大のために，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であることを理解している。 ・地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，文化と宗教の多様性及び日本国憲法の平和主義を基に，日本の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちと国際社会について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

累計時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
—	【学習の始めに】 (教科書P.176-177)	<p>○これから学習する国際社会に関する様々な事象について，協調，持続可能性などに着目したり，関連付けたりして考えていくことを，理解する。</p> <p>○身近な事例から，自分と国際社会とのつながりに気づき，学習に対する関心や意欲をもつ。</p>	<p>知識・技能</p> <p>国際社会単元では，協調，持続可能性などをふまえて，国際社会の課題を追究し，解決していくことを理解している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>国際社会に存在する問題とその解決に対する関心が高まり，意欲的に学習しようとしている。</p>

第1節の目標	
<p>○領土と国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項を理解する。</p> <p>○文化と宗教の多様性などを基に，国際連合の働きと役割などについて多面的・多角的に考察する力，思考・判断したことを説明する力を養う。</p> <p>○国家と国際社会について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【単元を貫く問い】 国際社会において国家が互いに尊重し協力し合うために大切なものは何だろう。</p>	
第1節の評価規準	<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・領土と国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項を理解している。 <p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，文化と宗教の多様性などを基に，国際連合の働きと役割などについて多面的・多角的に考察し，表現している。 <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家と国際社会について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で，それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
70	<p>1 国際社会と持続可能性（教科書P.178-179）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1枚のシャツから ・持続可能性とは ・持続可能な社会の実現のために 	<ul style="list-style-type: none"> ○写真資料と持続可能な社会の関係について考える。 ○夜の地球の衛星写真や現代社会の課題を表す写真から，持続可能な社会との関わりを考えることで，本章の学習に取り組む意欲をもつ。 	<p>思考・判断・表現</p> <p>写真資料と持続可能な社会を関連させながら，自分の考えをもっている。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>持続可能な社会の考え方が私たちの生活と深い関わりをもっていることに気付く，本章の学習に主体的に取り組もうとしている。</p>
71	<p>2 国家と国際関係（教科書P.180-181）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家と国家主権 ・国際関係のなりたち ・国際協調 	<ul style="list-style-type: none"> ○主権国家が成立する要件や国際社会で広く共有されている国際関係の考え方について理解することができる。 ○国際社会の中で，対立や課題を克服するためにどのようなことが必要であるか考える。 	<p>知識・技能★</p> <p>主権国家が成立する要件や国際社会で広く共有されている国際関係の考え方を理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>国際社会の中で国際協調の大切さについて，自分の考えを吟味している。</p>
72	<p>3 日本の領土をめぐる問題（教科書P.182-183）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の広い排他的経済水域 ・日本の領土をめぐる問題 ・日本の領土をめぐる情勢 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の領域について法的根拠とともに知り，これに対する外国の主張の存在を理解する。 ○国際社会の中で，国家がたがいに尊重し合うために必要なことは何かについて，領土をめぐる対立を通して双方の主張を比較しながら考える。 	<p>知識・技能★</p> <p>日本の領域を知り，これに対する日本と外国の主張の対立や論点を理解している。</p> <p>思考・判断・表現</p> <p>国際社会の中で，国家がたがいに尊重し合うために必要なことについて，自分の考えを吟味している。</p>
—	<p>【公民+α】 日本の領土をめぐる問題の解決に向けて（教科書P.184-185）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の領土をめぐる問題について，それぞれの歴史的経緯について理解する。 ○日本だけでなく多くの国で領土・領域に関わる問題があ 	<p>知識・技能</p> <p>日本の領土をめぐる問題について，それぞれの歴史的経緯について理解することができる。また，日本だけでなく多くの国で領土・領域に関わる問題があり，</p>

		り、そのなかには武力衝突が発生しているものや、交渉や裁判で解決に至ったものがあることを理解する。	そのなかには武力衝突が発生しているものや、交渉や裁判で解決に至ったものがあることを理解している。
73	4 国際連合の目的とはたらき (教科書 P.186-187) ・国際連合の成立 ・国連の目的とはたらき	○国際連合の目的を理解する。 ○国際連合のしくみや活動について知り、その働きや役割について考える。	知識・技能 国際連合の目的について、資料を活用してまとめている。 思考・判断・表現★ 国際連合のしくみや活動について、資料を読み取り、その働きや役割について考えている。
74	5 グローバル化と地域統合 (教科書 P.188-189) ・地域統合と地域協力のうごき ・EUの統合	○地域統合の目的は何か、また主な地域統合にはどのようなものがあるか理解する。 ○地域統合のなかで発生している問題点について多面的・多角的に考える。	知識・技能 地域統合の目的は何か、また主な地域統合にはどのようなものがあるか理解している。 思考・判断・表現★ 地域統合のなかで発生している問題点について多面的・多角的に考えている。
75	6 世界の様々な文化や宗教 (教科書 P.190-191) ・文化・宗教と政治を考えるために ・現代世界への文化・宗教の影響 ・文化と宗教の多様性への寛容	○現代の世界において、宗教と政治との関わりについて捉える。 ○現代の世界において、宗教や文化の多様性についての寛容さが大切である理由について考え、説明する。	知識・技能 現代の世界における宗教と政治との関わりについて、資料を活用して捉えている。 思考・判断・表現★ 現代の世界における宗教や文化の多様性についての寛容さが大切である理由について、資料を活用して考え、説明している。
—	【明日に向かって】 東京2020オリンピック・パラリンピック大会 ～次の世代へバトンをつなぐ～ (教科書 P.192-193)	○オリンピック・パラリンピックに関心をもち、その起源や目的について意欲的に学ぶ。 ○東京オリンピック・パラリンピック大会の事例を活用して、共生社会やグローバル化社会の実現に必要なことについて考える。	思考・判断・表現 東京オリンピック・パラリンピック大会の事例を活用して、共生社会やグローバル化社会の実現に必要なことについて考えている。 主体的に学習に取り組む態度 オリンピック・パラリンピックに関心をもち、その起源や目的について意欲的に学ぼうとしている。

第2節 国際社会の課題と私たちの取り組み

学習指導要領の内容：D（1）

第2節の目標
<p>○世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であること、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解する。</p> <p>○日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○国際社会の課題と私たちの取り組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わりようとする態度を養う。</p> <p>【単元を貫く問い】 国際社会の課題の解決のために、私たちはどのような取り組みができるだろうか。</p>

第2節の評価規準	知識・技能
	・世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、国際協調の観点から、国家間の相互の主権の尊重と協力及び国際機構などの役割が大切であること、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。
	思考・判断・表現
	・対立と合意、効率と公正、協調、持続可能性などに着目して、日本国憲法の平和主義を基に、日本の安全と防衛、国際貢献を含む国際社会における日本の役割について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。
	主体的に学習に取り組む態度
	・国際社会の課題と私たちの取り組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
76	1 現代の戦争と平和 (教科書 P.194-195) ・現代の紛争 ・東アジアの変化と課題	○冷戦終結後の世界における諸問題を通して、現代の紛争の特徴を理解する。 ○東アジアの安定のための日本の取り組みについて、対立と協調に着目しつつ、東アジア諸国の情勢も踏まえて考察する。	知識・技能★ 冷戦終結後の世界における諸問題について知り、現代の紛争の特徴に対して理解している。 思考・判断・表現 東アジアの安定のための日本の取り組みについて、対立と協調に着目しつつ、東アジア諸国の情勢も踏まえて考察している。
77	2 世界の軍縮と日本の役割 (教科書 P.196-197) ・軍縮への動きと課題 ・軍縮に対する日本の責任	○国際社会が核軍縮に取り組んできた過程と、これからの対応について、対立と合意、協調に着目して考察する。 ○核軍縮と世界平和の実現のために、日本ができる役割について、国際社会に働きかけようとする、国際協調の態度で学習する。	思考・判断・表現★ 国際社会が核軍縮に取り組んできた過程と、これからの対応について、対立と合意、協調に着目して考察している。 主体的に学習に取り組む態度 核軍縮と世界平和の実現のために、日本ができる役割について、国際社会に働きかけようとする、国際協調の態度が育っている。
78	3 日本の平和主義と国際貢献 (教科書 P.198-199) ・平和主義—日本の安全保障と国際貢献 ・世界の紛争と日本の役割の拡大 ・人間の安全保障	○平和主義の立場に基づいて日本が行う国際貢献の方法について整理する。 ○人間の安全保障を確立するために日本が果たすべき責任について、自分の考えを表現する。	知識・技能 平和主義の立場に基づいて日本が行う国際貢献の方法についてまとめている。 思考・判断・表現★ 人間の安全保障を確立するために日本が果たすべき責任について、自分の考えを表現しながら吟味している。
79	4 発展途上国の現状と多様化する世界 (教科書 P.200-201) ・世界人口の増大 ・南北問題 ・南南問題と南南協力	○世界の人口の増大とそれに伴う国際的な問題の増加について理解する。 ○世界各国の経済格差をなくすための方策を、公正や国際協調の立場で考察する。	知識・技能★ 世界の人口の増大とそれに伴う国際的な問題の増加について理解している。 思考・判断・表現 世界各国の経済格差をなくすための方策を、公正や国際協調の立場で考察している。
80	5 限りある資源とエネルギー	○地球規模でエネルギー消費量が拡大するなか、効率的に利	知識・技能★ 化石燃料、原子力、再生可能エネルギー

	(教科書 P. 202-203) ・増え続ける世界の資源・エネルギー消費 ・新しいエネルギーの開発に向けて ・日本のエネルギー問題	用するためにそれぞれの資源・エネルギーの長所・短所を理解する。 ○日本にとって持続可能なエネルギー構成について考察し、表現する。	一を用いた発電方式の特徴を理解している。 思考・判断・表現 エネルギー構成について、各発電方式の特徴を比較し、持続可能なものにするにはどうすればよいか考察している。
81	6 地球規模の環境問題と国際協力 (教科書 P. 204-205) ・様々な環境問題 ・地球温暖化とその影響 ・気候変動と国際協力	○経済発展に伴い、温暖化による気候変動といった地球規模の環境問題が起こっている現状を理解する。 ○気候変動をめぐる、国際協力の必要性を理解し、パリ協定の実効性を高める方策を考察する。	知識・技能★ 温室効果ガスの排出により気候変動が引き起こされ、様々な地球規模の環境問題が生じていることを理解している。 思考・判断・表現 パリ協定の意義と課題を踏まえ、実効性を高めるためにはどうすればよいか考察している。
82	7 持続可能な社会をめざして (教科書 P. 206-207) ・SDGs とは ・持続可能な社会のための国際協力 ・私たちの行動と持続可能な社会	○「持続可能な開発目標 (SDGs)」の 17 の目標と実現に向けた取組を進めている現状と課題を理解する。 ○身近な社会的課題が世界が直面している課題につながっていることを理解し、解決に向けた持続可能な方策を考察する。	思考・判断・表現★ 世界が直面している課題を「持続可能な開発目標 (SDGs)」の 17 の目標に照らし、持続可能性を視点に整理し、その解決策を考察している。 主体的に学習に取り組む態度★ 「持続可能な開発目標 (SDGs)」の 17 の目標に関心を持ち、その取り組みに主体的に関わろうとしている。
83	【チャレンジ公民】 地球温暖化に対する政策について考えよう (教科書 P. 208-209)	○地球温暖化を含めた気候変動に対する国際協調にむけて、民主主義の政策推進の方法として政党への支持があり、その選択の視点を理解する。 ○政策を推進するためには、多くの要因が複雑に絡んでいることを理解し、社会的な見方・考え方を踏まえて最適解を得られるよう考察する。	知識・技能 地球温暖化問題の解決に向けた政策の内容を理解し、資料を整理している。 思考・判断・表現★ 政策について、持続可能な開発目標を視点に判断基準を定め、比較検討しながら考察している。

第5編 私たちの課題 —持続可能な社会をめざして—

学習指導要領の内容：D（2）

第5編の目標
<p>○持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題に関わる基本的な事項について理解するとともに、諸資料から、持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題の解決に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>○私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明・論述したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○私たちの課題について、課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養う。</p> <p>【単元を貫く問い】 私たちが持続可能な社会を築いていくためにはどうしたらよいだろうか。</p>

第5編の評価規準	知識・技能
	・持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題に関わる基本的な事項について理解している。 ・諸資料から、持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題の解決に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
	思考・判断・表現
	・社会的な見方・考え方を働かせ、私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について多面的・多角的に考察・構想し、自分の考えを説明、論述している。
	主体的に学習に取り組む態度
	・私たちが持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

観点別評価規準の★は「評定に用いる評価」で、それ以外は「学習改善につなげる評価」を示します。

累計時数	学習内容	学習のねらい	評価規準
84	1 テーマの設定 —これからの社会をどんな社会にしたい？— (教科書 P. 212-214) ・大きなテーマから決める ・テーマを具体的にしている	○より良い社会を築いていくための課題研究を通して社会参画をしていくことに、関心をもつ。 ○持続可能な社会の形成という観点の意味と、その基礎となる公正で平和な社会という価値の意味を理解する。	知識・技能★ 持続可能な社会という考えを理解している。 主体的に学習に取り組む態度 第5編での学習活動の見通しを持ち、次々以降での資料収集や考察の場面を考慮し、自らの学習を調整しようとし、粘り強く学習に取り組もうとしている。
85	2 資料の収集と読み取り (教科書 P. 215) ・資料の収集 ・資料の読み取り	○課題研究のために必要な資料を適切に収集する。 ○情報の集め方に関する知識や、情報の読み取り方、特に、情報源である様々なメディアの特色に関する知識を活用しながら適切に情報を集め、読み取る。	知識・技能★ 資料の表題、出展、年代、作成者などを確認し、その信頼性を踏まえつつ情報を集めている。異なる資料を見比べたり、結びつけたりして読み取っている。 主体的に学習に取り組む態度 今後の学習活動に見通しを持ち、学習の進め方を試行錯誤しようとしている。
86 87	3 考察と構想 (教科書 P. 216-217) ・考察をすすめる ・意見の交換 ・考察したことをもとに、政策を構想する	○資料から読み取った事実を解釈して導き出した結論について他の生徒と意見交換を行い、それをふまえて自分の結論を見直し、よりよい社会を築くための提案を考察する。 ○他の生徒と意見交換を行い自分の意見を見直し修正するために、話し合いの進め方に関する知識や技能を活用する。	思考・判断・表現 資料から読み取った事実から導き出した結論を、他者の意見をふまえて見直し、より適切な結論を導き出すために適切に考察、構想している。 主体的に学習に取り組む態度★ 考察の過程の中で必要な資料に思い当たり、自らの学習を調整しようとしている。また、粘り強く学習に取り組もうとしている。
88 89 90	4 まとめと評価 (教科書 P. 218-220) ・レポートを書く ・発表(プレゼンテーション)をする ・評価をする ・社会への関わり方を考える	○適切な項目を設けて、科学的な探究の過程や思考の過程がわかるようにレポートをまとめる。 ○クラスでの発表で、適切に聴き手に自分の考えを伝えるとともに、他の生徒の発表も真剣に聞いて理解をするだけでなく、その内容を評価し、意見を言う。	思考・判断・表現★ 探究した課題に対する実現可能な解決策を、対立と合意、効率と公正などの見方・考え方を取り入れて説明し、適切に表現している。 主体的に学習に取り組む態度 レポートの内容がより分かりやすいものになるよう、自らの学習を調整しようとしている。また、粘り強く学習に取り組もうとしている。